

ニュースリリース

報道関係各位

2015年1月14日

一般財団法人日本気象協会

2015年春の花粉飛散予測(第3報) ～花粉シーズンまであと3週間！スギ花粉のピークは3月に～

一般財団法人日本気象協会(本社:東京都豊島区、会長:縄野克彦)は、2015年1月14日(水)に全国・都道府県別の2015年春の花粉(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)飛散予測(第3報)を発表します。また、詳細な情報を、「2015年春の花粉総飛散数 予測資料」として販売します。

第3報では、8都市のスギ・ヒノキ花粉飛散のピーク時期を発表します。また、最新の長期予報や花芽調査などに基づいて、前回予測(第2報 2014年12月3日発表)を一部修正しています。これらの予測は、今後の気温予測や花芽調査などのデータを基に内容を更新する予定です。今後も日本気象協会の花粉飛散予測にご注目いただき、2015年春の花粉対策に向けて、お役立てください。

1. 全国予測の概況

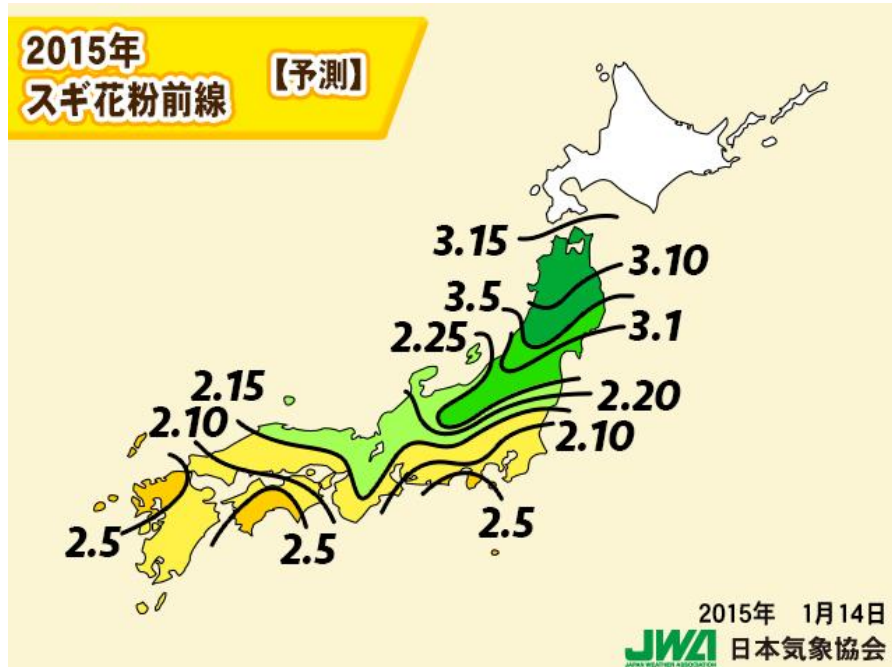
(1) 飛散開始時期 -まもなく2月上旬から花粉シーズンスタート！-

2015年春のスギ花粉の飛散開始は、例年並みか早いでしょう。2月上旬に九州・四国・東海地方から花粉シーズンが始まる見込みです。

1月下旬は、全国的に気温は概ね平年並みでしょう。2月から3月にかけては、西日本と東日本では気温は平年並みか高く、北日本は平年並みでしょう。

この時期の気温が平年より高いと、スギ花粉の飛散開始は早くなる傾向にあります。このため、2015年春のスギ花粉の飛散開始は、西日本と東日本は例年より早く、北日本は例年並みでしょう。

ただし、寒い日が続いていても急に気温が高くなる日があると、予測よりも早く飛び始めることがあります。天気予報専門サイト [tenki.jp](http://www.tenki.jp/pollen/)(URL:<http://www.tenki.jp/pollen/>)では、花粉症対策の参考にさせていただくべく、本日より、全国各地の『飛散情報』を公開しています。※詳細は【参考情報】をご覧ください。



2015年春のスギ花粉飛散開始予測 前線図

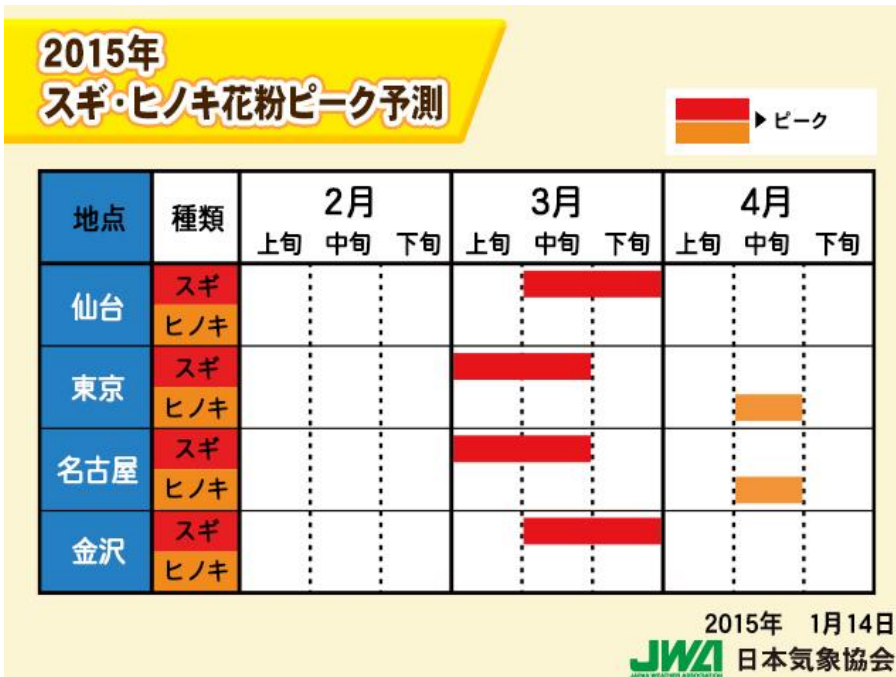
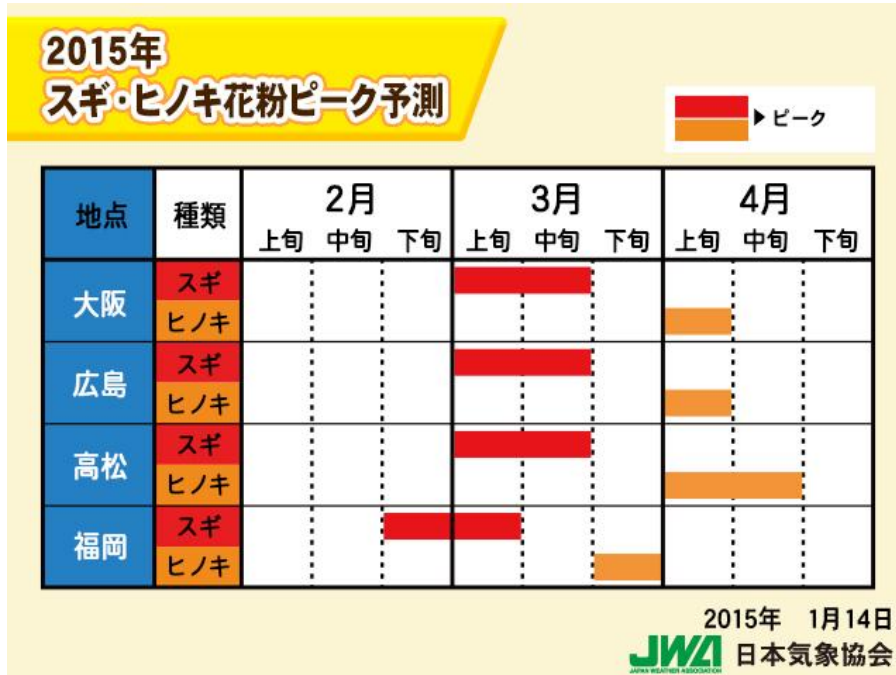
※ 飛散開始とは、1平方センチメートルあたり1個以上のスギ花粉を2日以上連続して観測した場合を最初の日と定義しています。

ニュースリリース

(2)ピーク予測 -全国的にスギ花粉のピークは例年並みの3月！-

スギ・ヒノキ花粉の飛散数がピークになる時期は、花粉シーズン中の気温や予想される総飛散数と関係があると考えられます。2月と3月の気温は全国的に平年並みか高い予想ですが、ピーク時期を早めるほどではない見込みです。このため、スギ・ヒノキ花粉それぞれのピーク時期は例年並みでしょう。

スギ花粉のピークは、福岡は2月下旬から3月上旬、高松、広島、大阪、名古屋、東京は3月上旬から中旬の見込みです。金沢と仙台は3月中旬から下旬にピークを迎えるでしょう。スギ花粉のピークが終わった後は、各地でヒノキ花粉がピークを迎える見込みです。金沢と仙台は4月にヒノキ花粉が飛散しますが、飛散数が比較的少なく、はっきりとしたピークはないでしょう。

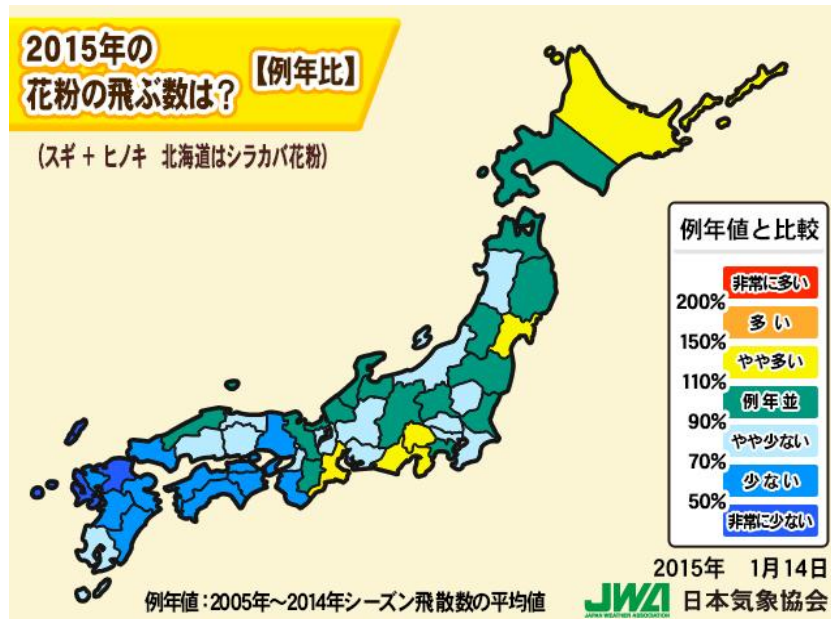


2015 春のスギ・ヒノキ花粉ピーク予測(上:西日本、下:北・東日本)

ニュースリリース

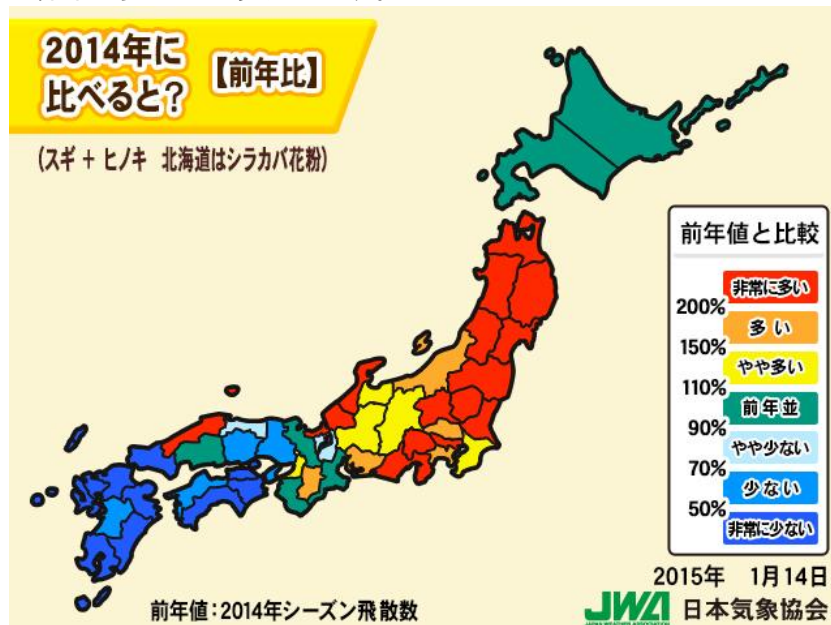
(3) 飛散数 -東海から東北地方では前年の2倍以上になるところも-

2015年春のスギ及びヒノキ花粉(北海道はシラカバ)の総飛散数は、九州から近畿地方のほとんどの地域は例年より少ないまたはやや少なく、東海から東北地方は例年並みでしょう。北海道は例年よりやや多くなる見込みです。



2015年春の花粉飛散数予測 (例年比)

前年(2014年)の花粉の飛散数が少なかった北陸・関東甲信・東北地方では、2015年春の飛散数は前年の2~3倍になるでしょう。一方、前年の飛散数が例年よりも多かった九州・四国地方では、2015年春の飛散数は前年に比べて非常に少なくなる見込みです。



2015年春の花粉飛散数予測 (前年比)

花粉の飛散数は前年の夏の気象条件が大きく影響し、一般に気温が高く、日照時間が多く、雨の少ない夏は花芽が多く形成され、翌春の花粉の飛散数は多くなります。

2014年の夏は、北陸・関東甲信・東北地方では気温が高い所が多くなりました。一方、九州や四国地方では低温・少照・多雨となり、花芽が形成されにくい気象条件となりました。このため、2015年春の花粉飛散数は、西日本では例年より少ない所が多く、東日本と北日本では例年並みかやや多いでしょう。

ニュースリリース

2.地方概況

地方	花粉種別	飛散開始時期	飛散数		2014年夏の気象
			例年比 (地方平均値)	前年比 (地方平均値)	
北海道	シラカバ	—	やや多い (110%)	前年並 (100%)	気温 : 高い 日照時間: 多い 降水量 : かなり多い
東北	スギ ヒノキ	2月下旬～3月中旬	例年並 (100%)	非常に多い (330%)	気温 : 高い 日照時間: 平年並 降水量 : 多い
関東 甲信	スギ ヒノキ	2月上旬～2月下旬	例年並 (90%)	非常に多い (230%)	気温 : 高い 日照時間: 平年並 降水量 : 平年並
北陸	スギ ヒノキ	2月中旬～2月下旬	例年並 (90%)	非常に多い (200%)	気温 : 高い 日照時間: 少ない 降水量 : 多い
東海	スギ ヒノキ	2月上旬～2月下旬	例年並 (100%)	多い (150%)	気温 : 平年並 日照時間: 少ない 降水量 : 少ない
近畿	スギ ヒノキ	2月中旬	やや少ない (80%)	前年並 (100%)	気温 : 平年並 日照時間: 少ない 降水量 : 多い
中国	スギ ヒノキ	2月上旬～2月中旬	やや少ない (80%)	やや少ない (80%)	気温 : 平年並 日照時間: かなり少ない 降水量 : 平年並
四国	スギ ヒノキ	2月上旬～2月中旬	少ない (60%)	非常に少ない (30%)	気温 : 低い 日照時間: かなり少ない 降水量 : かなり多い
九州	スギ ヒノキ	2月上旬	少ない (50%)	非常に少ない (30%)	気温 : 低い 日照時間: かなり少ない 降水量 : 多い

※言葉の説明

【飛散数に関する言葉の説明】

- 非常に多い : 例年(前年)の200%以上
- 多い : 例年(前年)の150%以上200%未満
- やや多い : 例年(前年)の110%以上150%未満
- 例年(前年)並 : 例年(前年)の90%以上110%未満
- やや少ない : 例年(前年)の70%以上90%未満
- 少ない : 例年(前年)の50%以上70%未満
- 非常に少ない : 例年(前年)の50%未満

例年 : 過去10年(2005～2014年)の平均値

前年 : 2014年シーズン飛散数

【2014年夏の気象に関する言葉の説明】

平年 : 1981～2010年の平均値

※北海道のシラカバ花粉の飛散開始時期は第4報にて発表予定

日本気象協会は、1950年の設立以来、60年以上にわたり、広域予報にとどまらない、より生活に身近な都道府県単位の気象予報やピンポイントの気象予報を、各メディアや自社メディアを通して発表している民間の団体です。国内の民間事業者としては最大の規模で、全国に支社や支店、事業所があり、天気予報のエキスパートである気象予報士265名(2014年7月現在)が多面的に業務に関わり、気象予報の業務に関しては24時間365日体制で最新の情報を発信しております。

また、その事業分野は気象予報にとどまらず、そのノウハウを生かし防災・減災、安全管理、また環境アセスメントや再生可能エネルギーに関する事業分野など、皆様の快適な日常生活や安全確保の支援や、産業活動の発展や環境の保全のために事業を展開しております。

www.jwa.or.jp

ニュースリリース

【参考情報】

本日1月14日より、天気予報専門サイトtenki.jp(<http://www.tenki.jp/>)にて、全国100地点における毎日の花粉飛散情報をお届けしますのでご案内をさせていただきます。(無料)。PC/スマートフォンに対応しています。

■アクセス方法：<http://www.tenki.jp/pollen/>

■提供情報

花粉飛散情報	全国100地点の花粉飛散情報(今日・明日予報及び週間予報)を、「少ない」「やや多い」「多い」「非常に多い」の4ランクで表示します。
花粉前線	気になる各地の花粉飛び始め時期を予想し、地図上にプロットした情報です。
コメント機能	Facebookアカウントをお持ちの方から投稿いただいたコメントを表示します。花粉に関するコメント投稿をお待ちしています。

■コンテンツイメージ



PC版イメージ



スマホ版イメージ

